

被災地支援活動

赤石発！震災応援会ニュース (No.8)

今年も大槌赤浜地区と交流を

大震災から2年7ヶ月

一昨年の3月11日から2年7ヶ月が過ぎました。

あの震災による犠牲者は全国では、下の表の通りですし、岩手県では死者、行方不明者が5,816人、震災により間接死した方は417人にものぼっております。

震災は、まだまだ私達の心に大きく残っております。

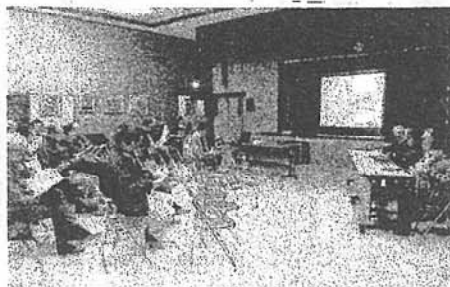
ともに悲しみを分かち合う事は勿論、早く復興が進むといいですね。

東日本大震災の被害者数 (2013/9月現在)

都道府県	死亡	行方不明	負傷	合計
青森県	3	1	111	115
岩手県	4,672	1,144	212	6,028
宮城県	9,547	1,297	4,145	14,979
福島県	1,606	208	182	1,996
茨城県	24	-	712	737
栃木県	4	-	133	137
千葉県	21	2	258	281
東京都	7	-	117	124
神奈川県	4	-	138	142
その他	4	-	127	131
合計	15,882	2,653	6,146	24,681

3月22日の総括会議「赤石発！震災応援会」

これまでとこれからについて話し合われました



- ※ この日次のことが確認されました
- ・夏、秋など季節の野菜などの支援
- ・お米会、懇親会など進じた懇親の会開催
- ・まつり等のイベントで海産物の販売
- ・昨年同様「新米1升運動」の展開

東日本大震災のあった一昨年・昨年と私達「赤石発！震災応援会」は、大槌町赤浜地区の仮設住宅に入っている方々と交流を続けてきました。

昨年の活動を総括した全体会議で平成25年も、昨年喜ばれた「新米1升運動」や「餅つき交流」「秋野菜を届ける」活動を続けましょと誓い合いました。今年8月に開催された赤石夏まつりの場では、わかめや、獲れたてサンマの販売幹旋、9月下旬には一行15名が紫波町にきてブドウ狩りを楽しむなど交流を深めました。

【これからの取り組み】 11月17日(日)に「赤浜で餅つきごちそう会」

去年も行いましたが、少しでも仮設住まいで頑張っている方々の力になればと企画しました。

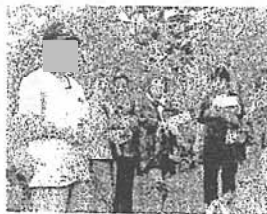
赤石地区の皆さんに3つのお願いです

- ① 昨年同様お米(新米)一升のご提供をお願いいたします。(餅米でも可)
 - ② 秋の野菜・果物などご提供頂ける方のご協力をお願いいたします。当日持参するものです。-----11月13~15日頃まで赤石公民館お願いします。
 - ③ 11月17日大槌までご同行し、協力いただける方を募集しております。
- ※何かわからないことがありましたら、赤石公民館までご一報をお願いします。

9月29日は「ブドウ狩り交流」開催！

9月29日は、大槌町赤浜第2仮設住宅自治会から、15人が来町昨年に引き続きブドウ狩り(長岡：華田農園)を楽しみました。

その後会場を赤石公民館に移し、「子供を大切にすることが復興につながる」との思いから赤石公民館を会場に行っている「子育て支援」のお話を、なかよしひろば代表の さんから聞いた後、お昼ご飯をいただきながら楽しく交流を深めました。



ブドウ狩りを楽しむ大槌町赤浜からの参加者



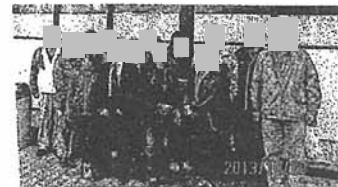
小雨の中にもかかわらず大勢の方々が並びました



「ベッタソコ・ベッタソコ」威勢良く餅つきです



赤石公民館前で、公民館の看板を真ん中に参加者全員記念撮影「ハイ、笑って」



餅りの途中、運の駅「山びなな」にて満定額です

大槌町赤浜地区での交流会 【赤石発！震災応援会ニュース9】

ちょっとだけ後押しの会

「赤石発！震災応援会」、今年は11月17日(日)大槌赤浜地区の第2仮設住宅(35世帯)との交流で、自立しようとしている方々へ手助けの思いを込めた「交流会」をしてきました。また、皆さんからいただいた、出来秋の収穫物 新米・野菜・果物なども持参し提供してきました。赤石からは17人が行ってきました。今回は入居者の「自立をちょっと後押しする会」として設定

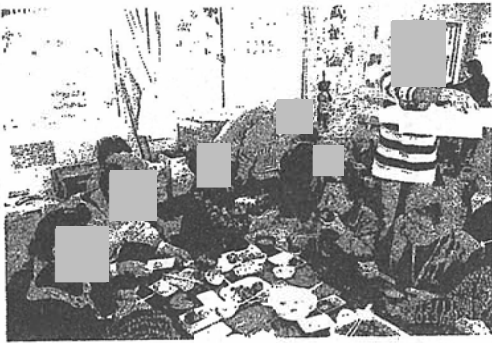
※お餅を食べながら、皆で楽しい昼食会

※復興に向けての赤浜の方々のからお話を聞いたり、懇談の会でした。

震災応援会ニュースや有線放送でPRし、皆さんからご提供いただいた農作物等は次の通りです。

もち米1升、うるち米106升、玄米(もち)30kg、リンゴ2箱、白菜、大根、カボチャ
ネギ、黒豆、人参、南部一郎(カボチャ系)、ジャガイモ、キャベツ、さらし柿、渋柿
大福、キリセンショ、手造り味噌、ぎんなん 【以上、こんなにいっぱいでした。】

ご協力いただき本当にありがとうございました



みんなで美味しく昼食会

その後それぞれに懇談が！

- ・サラダや漬け物、キリセンショの造り方、海産物の美味しい食べ方を教えあうなど、楽しい交流でした。
- ・この様に大勢で集まって、ワイワイ、ガヤガヤすることがあまりないんです。「是非また来て下さい。」とのこと、本当に喜んでいただきました。

第2仮設団地 自治会長 [redacted] さん

赤石の皆さんとは、震災後から継続的に支援していただき、今回の交流でさらに親交が深まりました。復興に向けて少しずつ進んではおりますが、まだまだこれからの状況です。

これからも交流を続けてもらいたいです。

手作り味噌を造ってくれた赤石地区の子ども達に、自治会からクリスマスプレゼントを贈ろうと考えています。と話していました。

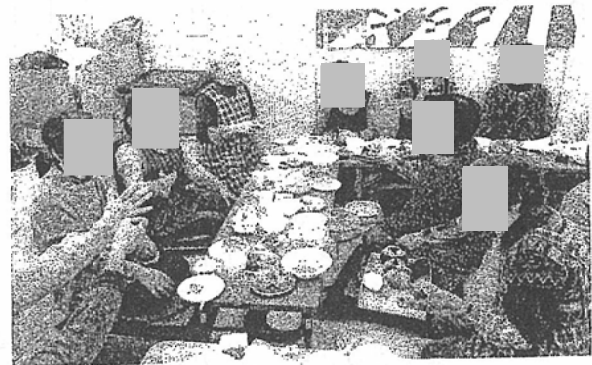
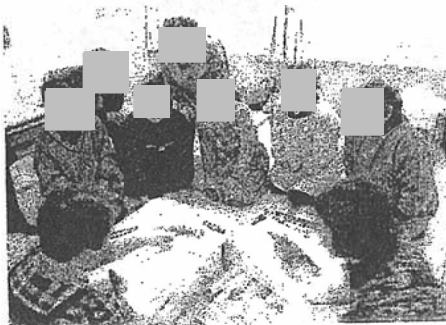


皆さんから善意のご協力、こんなにいっぱい

山田町船越芝生公園仮設との交流会 11月20日(水)

船越の仮設談話室で自治会の皆さんから、サンマのつみれ汁とイカ刺しのさばき方を教えていただきました。本場のイカ刺しは、さばく時に水を使わず手早くさばきます。ヤリイカとスルメイカの違いも教えて頂きました。

(山田仮設から10人、赤石から11人参加)



紫波のもち米を使ったお蒸かしと、山田のサンマのつみれ汁を囲んで懇親会。笑顔あふれる交流となりました。
※ 皆様に提供していただいた野菜の一部は、提供者のご了解を得て、山田町にもお届けいたしました。